

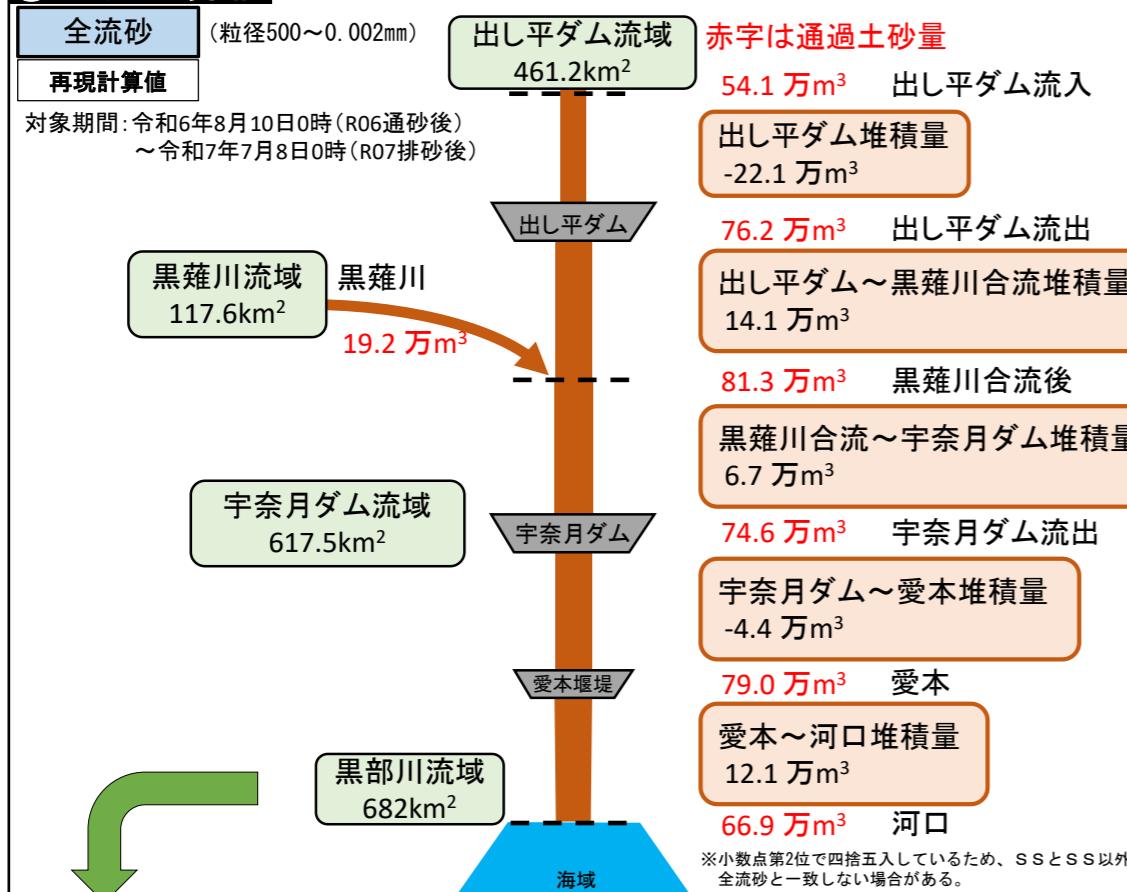
第63回黒部川ダム排砂評価委員会

資料一 1 —③

令和7年度黒部川の土砂動態について

令和6年通砂後測量から令和7年排砂後測量までの土砂動態 (R6.8/10~R7.7/8)

①再現計算値



・再現計算の計算条件
初期堆砂形状: 令和6年通砂後測量実測
初期粒度分布: 令和6年通砂後測量(8/09 23時時点)
の再現計算値
ダム運用: 計算期間中の運用実績
給砂条件: 出し平ダム、黒薙川からの流入土砂量は
平衡流砂量をもとに堆砂形状等が再現
できるように補正

②実測値

測量期間: R6.8月通砂後測量～R7.7月排砂後測量

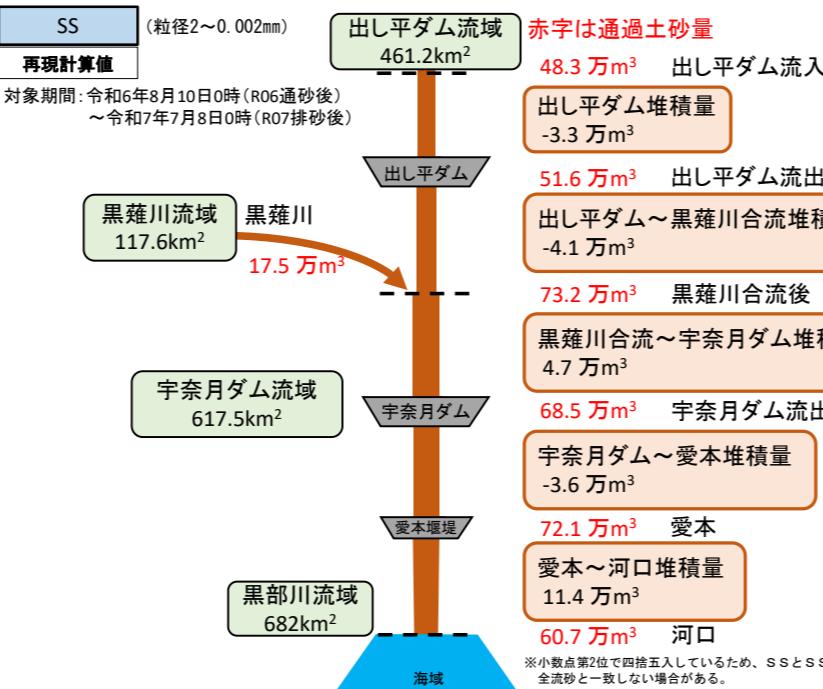
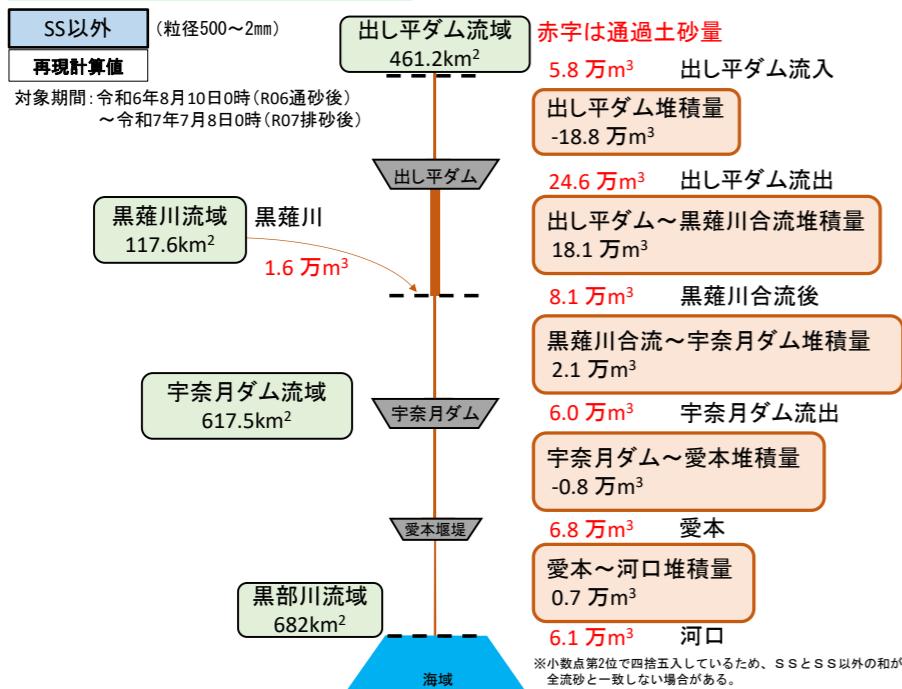
出し平ダム 堆積量 一約20万m³

土砂変動量	
R6.8(通砂後) ～R7.5(排砂前)	十約 13万m ³ (想定変動範囲: 約2.5万m ³ ～4.4万m ³)
R7.5(排砂前) ～R7.7(排砂後)	一約 3.3万m ³

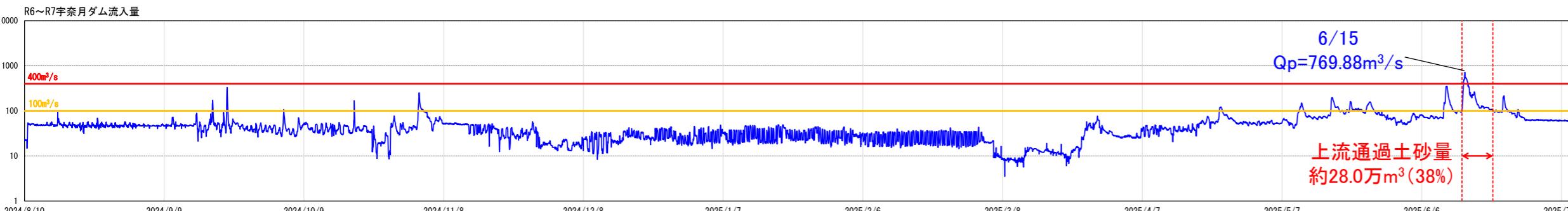
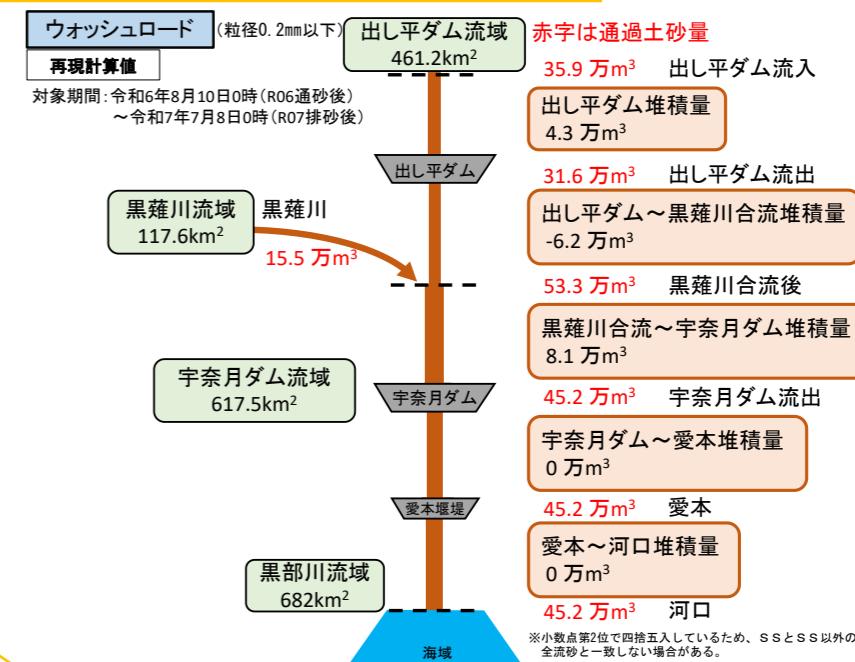
25.6k地点～宇奈月ダム 堆積量 +約1万m³

	堆積土砂量 (ダムサイト～25.6k)	
H11.2 ～R7.5(排砂前)	約859万m ³	H11.2～R6.8(通砂後) 約848万m ³ R6.8(通砂後)～R7.5(排砂前) +約11万m ³
R7.5(排砂前)～ R7.7(排砂後)		+約10万m ³
総堆積土砂量		約849万m ³
計画堆砂容量		1,200万m ³

全流砂の内訳



SSのうちウォッシュロード量

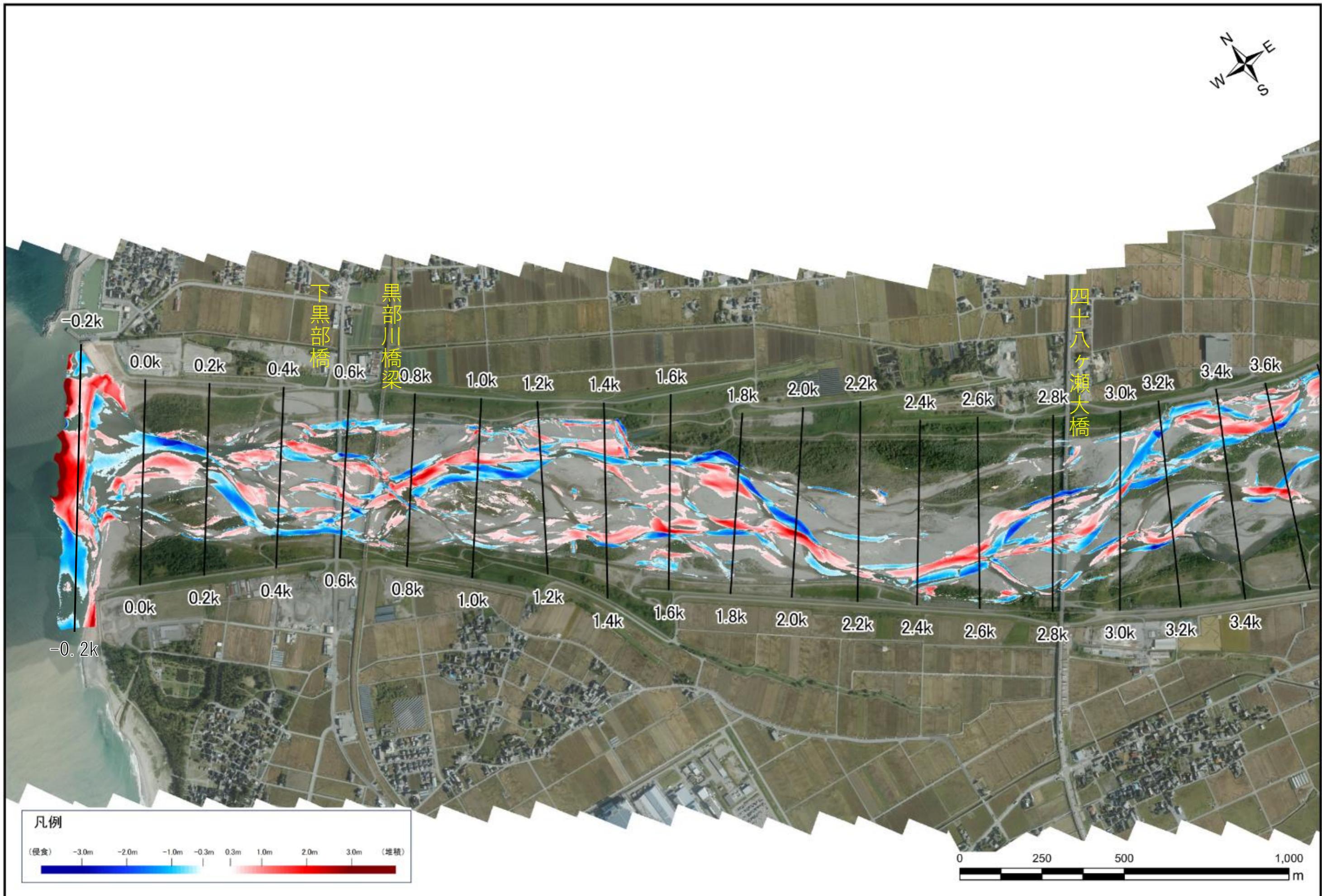


宇奈月ダム100m³/s以上の出水: 14回
内、排砂実施基準(400m³/s)以上の出水: 1回
※100m³/sとは、出し平ダムで流入土砂量が多くなるまでの流量

※上流通過土砂量とは、
出し平ダム上流(猫又) + 黒薙川の全流砂土量。
()内の%は全流砂合計値に対する割合。
なお、上流通過土砂量の算出期間は、排砂・通
砂時出水の流量100m³/s以上の期間

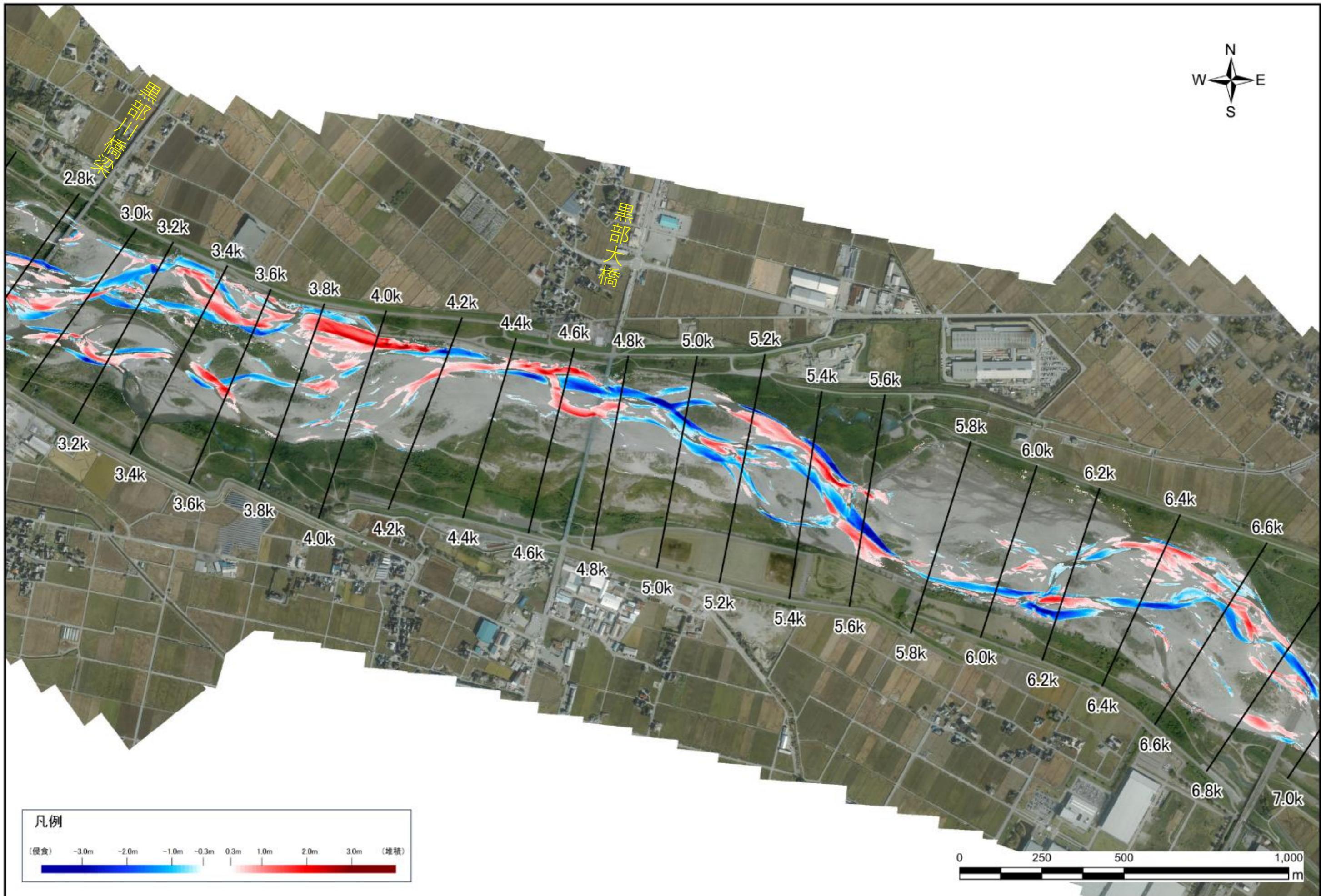
**令和6年10月～令和7年10月の河床変動について
(航空レーザー測量結果)**

令和6年10月～令和7年10月の河床変動について（河口～3.6k）



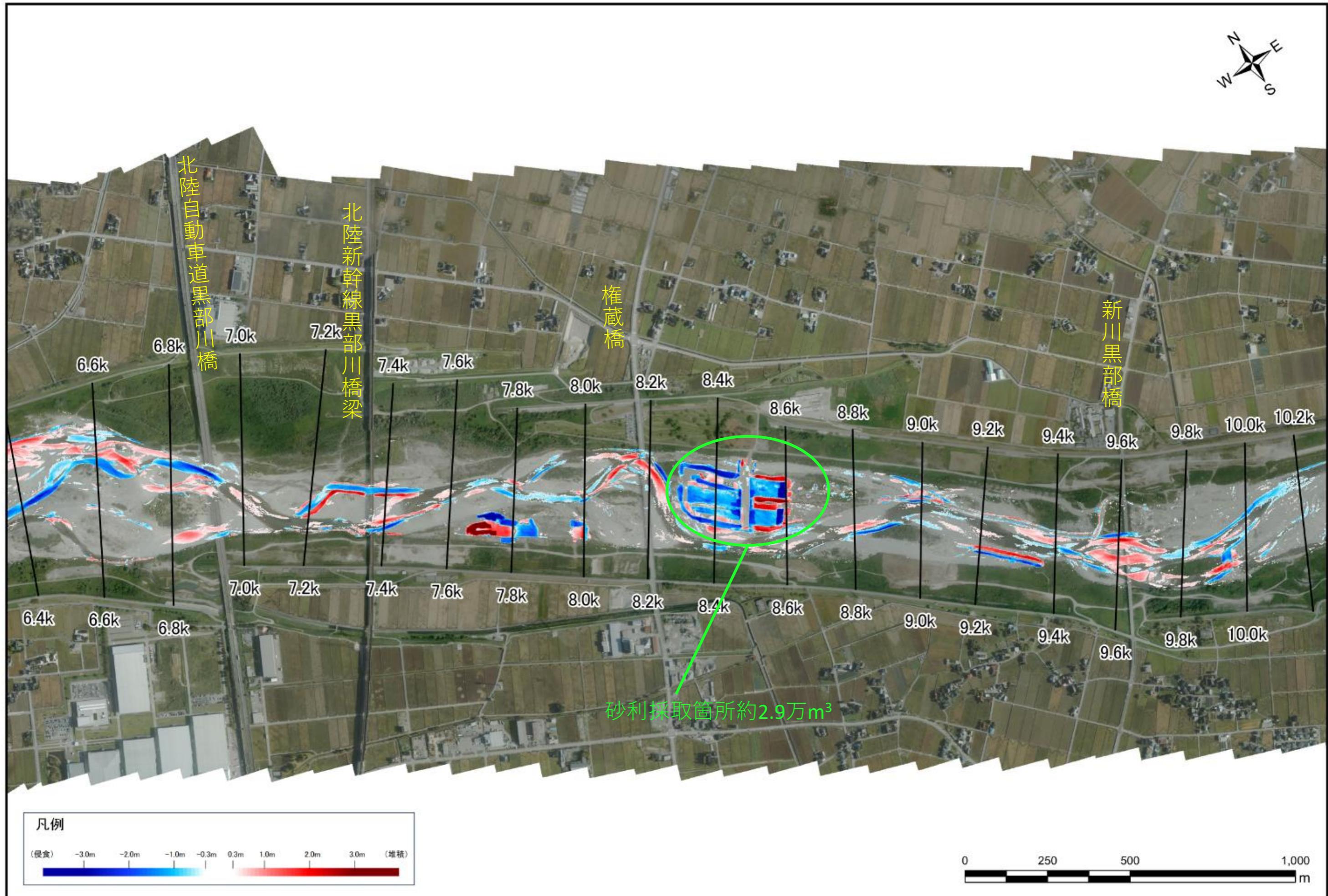
黒部川(1)標高差分図(令和7年10月－令和6年10月)

令和6年10月～令和7年10月の河床変動について（3.0k～6.6k）



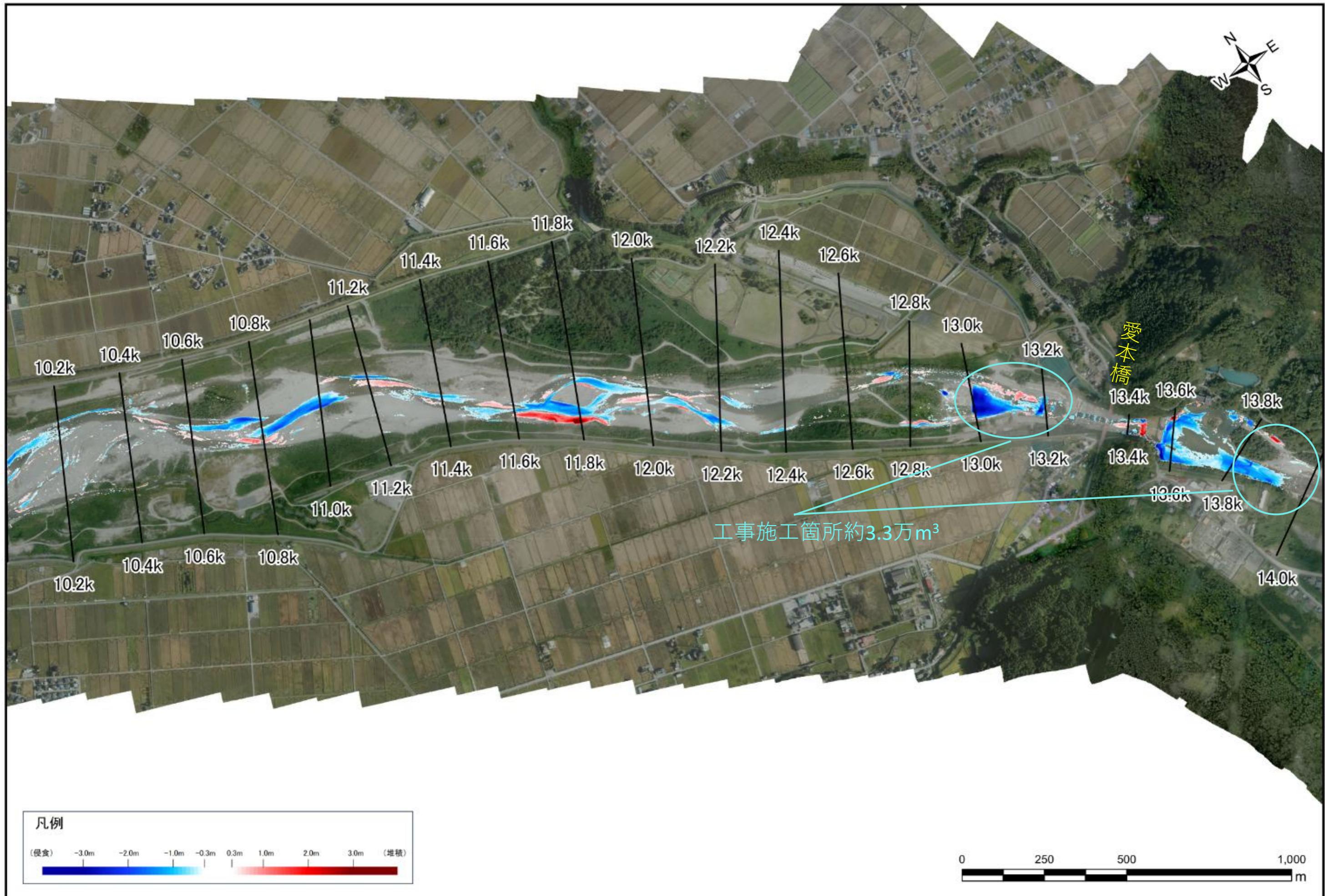
黒部川(2)標高差分図(令和7年10月～令和6年10月)

令和6年10月～令和7年10月の河床変動について（6. 6k～10. 2k）



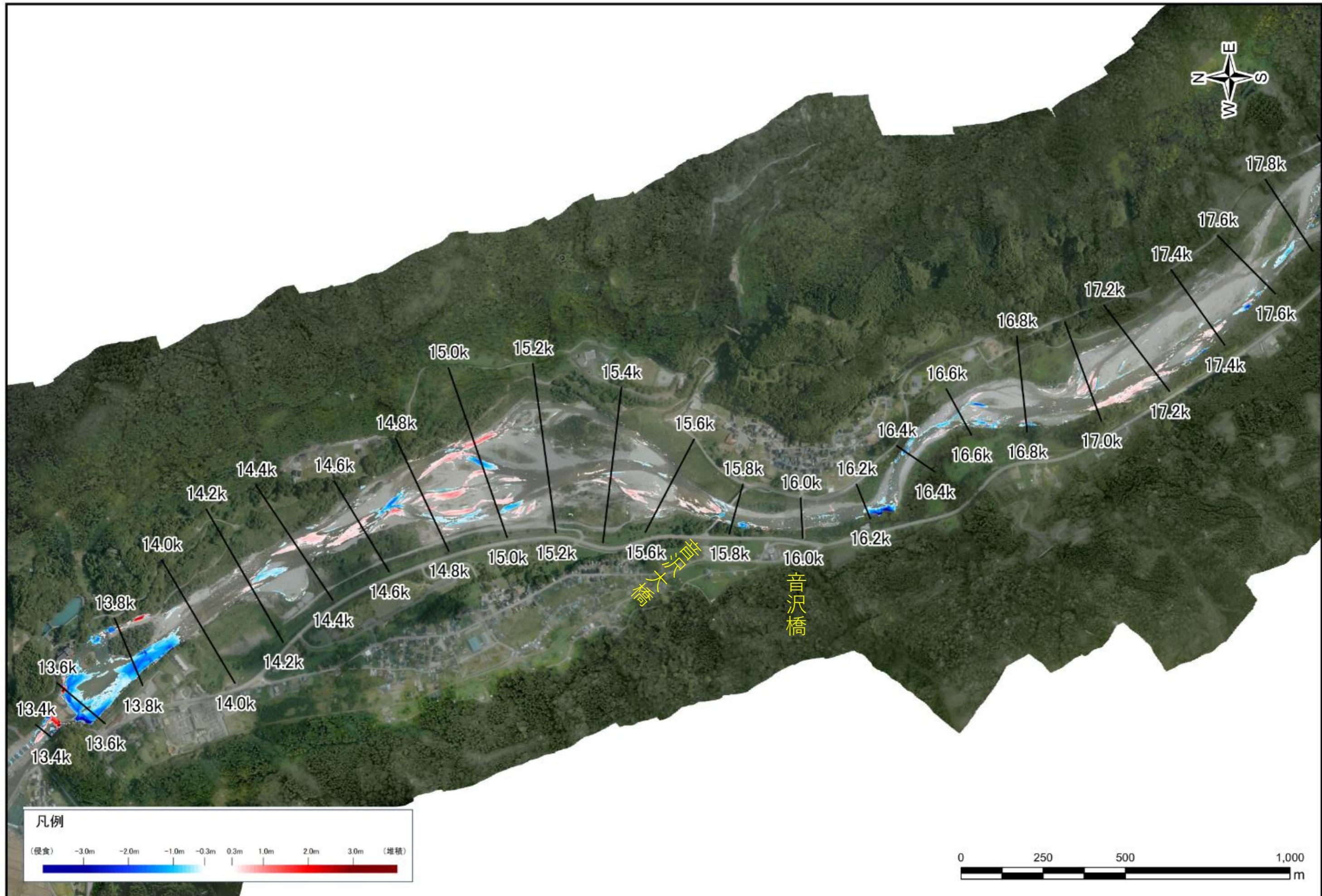
黒部川(3)標高差分図(令和7年10月－令和6年10月)

令和6年10月～令和7年10月の河床変動について（10. 2k～13. 8k）



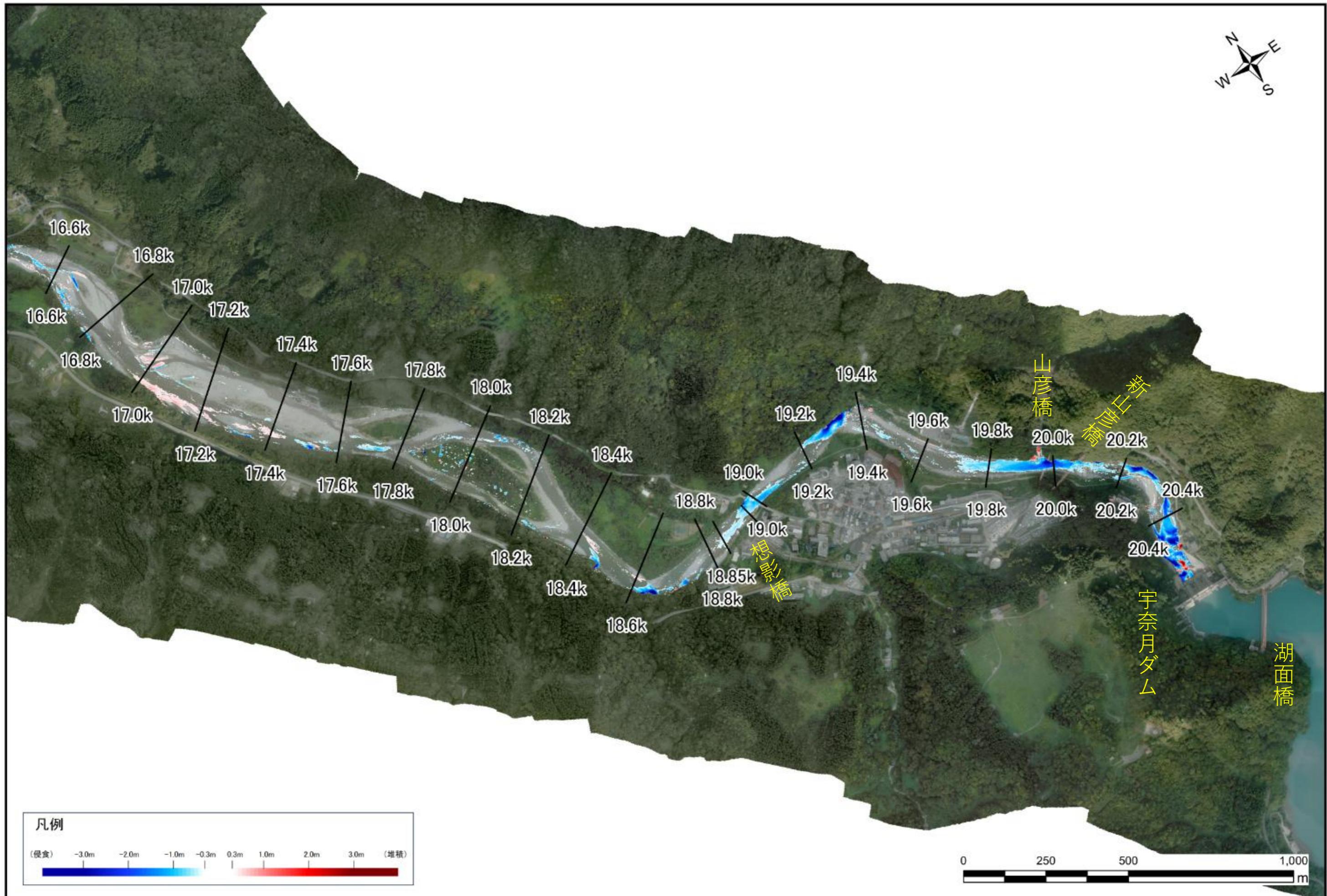
黒部川(4)標高差分図(令和7年10月－令和6年10月)

令和6年10月～令和7年10月の河床変動について（13.4k～17.6k）



黒部川(5)標高差分図(令和7年10月－令和6年10月)

令和6年10月～令和7年10月の河床変動について（16.6k～20.4k）



黒部川(6)標高差分図(令和7年10月－令和6年10月)

連携排砂実施期間前後の河床変動量について（令和6年10月～令和7年10月）

航空レーザー測量の結果から、令和6年10月～令和7年10月までの連携排砂実施期間前後の河床変動量を算出した結果、河口(-0.2k)～宇奈月ダム(20.4k)までの全区間で約8万m³の侵食が確認された。

その内、河口(-0.2k)から愛本(13.2k)までの区間では約4万m³の侵食、愛本(13.2k)から宇奈月ダム(20.4k)の区間では約4万m³の侵食が確認された。

